# 日本共産党 小平市議団ニュース

No.178 2026年11・12月号

日本共産党小平市議員団ホームページ
https://jcp-kodaira.jp/wp/

## みんなで力を合わせ憲法9条を守りましょう




総務委員
鈴木 だいち
☎070-2166-6260



環境建設委員長
ほそや　正
☎345-0818



厚生委員
三輪 博美
☎070-2806-7832


## 9月議会 何でもかんでも有料化する条例が提出される

### 大規模開発ではなく、暮らしの支援こそ最優先に!

小川駅西口地区市街地再開発事業の総事業費が252億7,800万円から268億400万円に膨れ上がることを小平市は10月に発表しました。９月議会では、**小川駅西口地下自転車駐車場整備の工事請負契約を29億2,435万円（当初は事業費約11億円と説明）とする条例**、また13年近く耐用年数が残っている**西部市民センターを解体する条例**が賛成多数で可決されましたが、**日本共産党小平市議団はいずれの条例**にも**反対**しました。

市は開発に莫大な事業費をかける一方、そのしわ寄せを市民に押し付けるような条例が政和会（自民）・公明・フォーラムなどの会派の賛成多数により次々と可決されてしまっています。

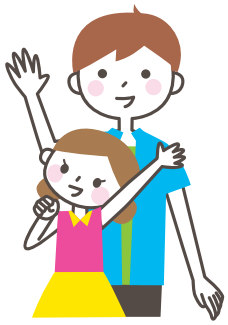
開発を優先し財源確保を理由に、市民に負担を強いる市政ではなく、先行きの見えない物価高の影響により市民生活がますます苦しくなっている状況を鑑み、暮らしの支援こそ最優先に進めるべきです！

## 子どもからも使用料を取るのか! 反対! 中央公園グラウンド使用料改定

中央公園グラウンドは人工芝化のため、４月の開設に向け現在は改修中となっていますが、市はグラウンド使用料を改定する条例を上程。グラウンド部分の値上げ幅は現行の３～４倍になるとともに、今回の条例改定により、フィールド・トラックエリアと多目的エリアの個人利用料金（１利用単位＝２時間）については、それぞれ300円、さらに中学生以下からも100円を徴収、市外の方からは規定額の２倍を徴収することになります。市民からは「子どもからもお金を取るのか！」と怒りの声が寄せられています。

**党市議団は「公園は市民のためのものであり、中学生以下からも使用料を徴収することは子どもの公園利用を制限することに直結する」として、条例に反対の立場を表明**しました。

### 市民の声 子どもからお金を取るなんて許せない！



中央公園は近所なのでグラウンドが空いている時は子どもたちを連れてよく遊ばせていました。有料化された場合、うちは子どもが２人いるので保護者の私も入れると１回遊ばせるのに500円もかかることに…。これでは気軽に遊ばせられません!!

（津田町在住の市民の声）

| 各会派の賛否 ○=賛成 ×=反対 | 結果 | 共産 | 政和 | 公明 | フォーラム | 一人 | ネット | 市民 | いのち | 国民 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小平市立体育施設条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ |

## 熱中症対策と逆行! 反対! 学校体育館エアコンの電気代徴収

近年の危険な酷暑から子どもや市民の命と健康を守るうえで、全市立小・中学校の体育館へ冷暖房設備が配備されたことは重要な市民要求の実現でした。しかし本条例では、体育館冷暖房の使用料等を設定し、電力使用量実績の平均として１時間当たり300円（２団体の共同利用時は150円）を徴収することが決まりました。

**党市議団は「公共施設は本来、受益者負担の強化ではなく、市民の誰もが等しく利用できるよう保証されるべきである」**ことに加えて、利用者の熱中症リスクの管理責任などを指摘し、**反対の立場を表明**しました。

| 各会派の賛否 ○=賛成 ×=反対 | 結果 | 共産 | 政和 | 公明 | フォーラム | 一人 | ネット | 市民 | いのち | 国民 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小平市立学校施設使用条例 | 原案可決 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

## 学生や現役世代が悲鳴! 反対! 集会施設の閉館時間が短縮

市は４つの施設（中央公民館、小川西町公民館、花小金井南公民館、東部市民センター）を除き、来年４月より公民館や地域センターの閉館時間を現行の22時から21時までに利用時間を短縮する条例を上程しました。

**党市議団は「夜間を中心に活動する市民の活動機会を著しく停滞させ、社会教育活動・地域活動への参加を阻害するものであること」、「行政経営課主導のもと年間わずか約2,000万円のコスト削減のために、利用者の不安が解消されぬまま拙速に進める必要はない」と、反対の立場を表明**しました。

| 各会派の賛否 ○=賛成 ×=反対 | 結果 | 共産 | 政和 | 公明 | フォーラム | 一人 | ネット | 市民 | いのち | 国民 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小平市立集会室条例等の一部を改正する条例 | 原案可決 | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ |

## 住宅密集地にデータセンターはいらない!

天神町１丁目のあけぼのパン工場跡地に巨大なデータセンターの建設が予定され、すでに準備工事が進んでいます。住宅密集地に建設されることにより、日照権の侵害、景観破壊、圧迫感、長期間の大規模工事、騒音、振動、熱風、交通上の危険などが危惧されています。

国には規制するルールがないため、全国各地で建設ラッシュが続いています。天神町のデータセンターの場合は、建設主体が日本企業ではない特定目的会社（SPC）となっているため、必要な情報が開示されず、住民との対話体制が構築されていないことなどから不信感が広がっています。



2026年8月22日、天神町のデータセンター建設予定地を視察する山添拓参議院議員と党市議団

## 市は「中立」というが住民に寄り添った対応を!

まちづくりの主役はそこに住んでいる住民であり、**人々の健康や平穏な暮らしを守ることこそ自治体の本来の役割**です。しかし市はデータセンター建設問題については、あくまで公平中立的な姿勢を貫いています。そこで今回の質問では、**江東区では住民に丁寧な説明を求める指導要綱を定め「話し合いガイドライン」を策定**していることや、**日野市では市長が自主アセスメントを実施し環境破壊を低減するよう求めている事例を紹介**し、小平市としても独自のガイドラインを策定すべきと提案しましたが、市は消極的な答弁に留まりました。

また建設予定地は小･中学校の通学路にあたり近くには保育園もあることから、「子どもたちの安全は守られるのか」と不安の声が上がっています。９月議会の**三輪博美議員の一般質問では、「丁寧に住民の声を聞くこと」、「国にデータセンターを規制するルールづくりの整備を急ぐよう自治体として要望すること」**などを強く求めました。

# 9月議会　市議団の一般質問

## 三輪　博美 議員



所属　厚生委員会、公共施設マネジメント調査特別委員会、広聴広報特別委員会委員長

### 長引く物価高騰から市民の生活と事業主を守り抜く施策を求める

物価高騰が止まらず生活が苦しいことへの不安や、度重なる国民健康保険税の値上げにより「食費を削り家計が圧迫されている」など切実な声が多数寄せられています。市は「物価高騰で被保険者を取り巻く生活状況の厳しさもあると認識している。負担増をお願いすることは大変心苦しい」と答弁しました。私は**高すぎる国保税が払えず受診控えなどが起きてはならない**と質し、国保税を引き下げることを求めました。

また物価高対策として豊島区の「としま賃上げ促進支援金」や日野市の「中小企業等賃上げ促進支援金」といった先進事例を挙げ、本市としても**物価高騰対策・賃上げ支援として検討するよう要望**しました。

これからも物価高騰から市民の生活や事業主を守り抜くために全力で頑張っていきます！

## 鈴木だいち 議員



所属　総務委員会、議会運営委員会、小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会

### 鷹の台駅の無人化中止とホームドア設置を求める！

６月６日に鷹の台駅で人身事故が発生したことを受け、**党市議団は７月に小平市の視覚障害者と東視協のみなさんと懇談**を行い、８月10日には**国土交通省へ「無人化の見直し」と「ホームドア設置」について要請**をしました。また８月28日には西武鉄道株式会社に対する要請書を提出し、後日、意見交換を行いました。

鷹の台駅は１日の乗降客が２万4000人近く、通勤者に加え、周辺に学校等の施設が複数あるため児童・生徒、学生のみなさんの利用が多い駅です。今回の質問では、駅利用者や障害者団体から党市議団に安全対策を求める声が届いていることを紹介し、駅を利用する子どもや高齢者、障害のある方の命と安全を守るために**鉄道会社に対し、無人化方針の中止と市内全駅へのホームドア設置を急ぐよう市として要請すること**を強く求めました。



国土交通省へ要請



西武鉄道株式会社へ要請書を提出

## ほそや 正 議員



所属　環境建設委員会委員長、都市基盤整備調査特別委員会、幹事長、団長

### 小川駅西口の再開発ビルの地下駐輪場は無料にすべき！

**小川駅西口地区市街地再開発事業**に関して、質問時の総事業費（約252億7,800万円）のうち、国の補助金は約51億2100万円、東京都の補助は14億3300万円、**小平市が負担するのは約78億2700万円**であることが明らかになりました。今回の質問により、再開発ビルの公金割合は143億8100万円（57％）となり、**約６割が公金により建てられたということが判明**しました。

また、**再開発ビルの地下に開設された自転車駐車場の料金**については、最初の１時間は無料で利用できるものの、**１時間の利用を超えた場合は120円を支払う仕組み**となってしまいました。私は**自転車駐車料金は無料にすべきと強く求め**、市は「管理組合の協議の場で議題として提案することを検討する」と答弁したものの、仮に無料化した場合には「市が財政補填を行うことが必要となると想定されることから慎重に検討していく必要がある」と消極的な答弁に留まりました。

# くらしのアンケート 2026-2027

**日本共産党小平市議団**
**市民アンケート**

FAX 042-341-8307

市民のみなさんのくらしの状況について、声をお聞かせください。切手を貼らずに同封の封筒に入れてポスト投函、ファックス、またはお近くの市議事務所にお届けください。ご協力をよろしくお願いいたします。



## 1 現在のくらしの状況について

①苦しい　②やや苦しい　③ふつう
④やや余裕がある　⑤ゆとりがある

## 2 小平市政で力を入れてほしいことについて

①くらし　②福祉　③教育　④　子育て支援　⑤商工農業　⑥保健医療　⑦環境・ゴミ問題（指定収集袋料金）
⑧青年・学生支援　⑨その他

ご意見

## 3 公共施設マネジメントについて

①膨れ上がる事業費（例：中央エリア整備→44億円から123億、小平第十一小学校等複合化→当初約50億～60億円から111億円）　②公立保育園の４園縮減方針(例：仲町、津田、花小金井保育園はすでに廃園)
③市有地の売却　④公民館、地域センターの縮減方針など

ご意見

## 4 小平市のこれからのまちづくりについて

①駅前再開発（例：小川駅西口地区市街地再開発事業、小平駅北口地区市街地再開発など）　②道路計画　③空き家対策　④公園整備（例：鷹の台公園、鎌倉公園、中央公園、東部市民プールなど）　⑤にじバス・コミタク　⑥その他

ご意見

## 5 データセンター建設計画（天神町1丁目）

生成AIの急激な普及によるデータセンターの建設や、住宅地への近接による問題が日本各地で起きています。小平市ですすめられようとしているデータセンター建設計画（予定）について、お考えや要望をお聞かせください。

ご意見

## 6 待機児童対策について

待機児童43人＆隠れ待機児童207人（2026年度）等、小平市で子育てをすることや、きょうだい別々入園問題についての課題や要望をお聞かせください。

ご意見

## 7 関心の高い社会問題について

①平和憲法　②気候変動　③ジェンダー平等　④貧困・格差・賃金　⑤労働問題　⑥防災・災害　⑦PFAS水汚染　⑧その他

ご意見

## 8 日本共産党、党市議団へのご意見、ご要望をお聞かせください。

ご意見

## よろしければ、ご記入ください

- お名前　　● 年齢　　歳
- ご住所
- お電話
- Eメール

**ご協力ありがとうございました！**

切り取り線